

AMAKURU RWANDA

WERURWE #11



青年海外協力隊 2017 年度 4 次隊
ルワンダ派遣 (2018/3~)
コミュニティ開発 (水の防衛隊)
野田 恵莉



Mwiriwe! (こんにちは!) 2018 年 3 月末より東アフリカの赤道直下に位置するルワンダ共和国に派遣されている野田恵莉(のだえり)です。

今月でルワンダに赴任して 1 年。最近降り始めた恵みの雨は、不安と期待でいっぱいだった赴任当時の気持ちを思い出させてくれます。1 年経った今、水道のない生活にもすっかり慣れ、ふらっと外に出れば、自分の居場所があることをしあわせに感じます。さて今月は、私の活動と暮らしについて紹介します。



📷：ご近所さんと家の前でおしゃべり。

- 新たな井戸が出現！さあ、どんな手を打つ？ -

水担当者であるカウンターパートが 1 か月の長期休みに入り、井戸の新しい維持管理体制づくりの動きは少し停滞しています。そんな中、井戸に関して全く別の動きが出てきたのです。

ある日、毎週通っている M 村へ衛生啓発ワークショップを行うために、自転車で未舗装の道を進んでいました。すると目に飛び込んできたのは、なんと「井戸」！**1 週間前は存在しなかった井戸が、突然誰かの手によって作られていたのです。**驚きを隠せないままカウンターパートに連絡すると、「信じられない！」との返事が。

そこで M 村の住民に尋ねると、「外部団体が作ってくれたんだよ！」と嬉しそうに教えてくれました。彼らは丘の上に住んでいるため、片道 1 時間かけて、谷底にある湧水を汲みに行かなければならなかったのです。



📷：新しく村に建設された井戸。

新しい井戸ができれば、それを維持管理していくために**水委員会の設置が必要**です。ある日、M 村担当の同僚から「新しく建った井戸向けに今週研修があるらしいので、水委員会をつくりたい」と相談を受けました。ここで**問題は、彼がカウンターパートや外部団体から詳しい説明を全く受けていなかったこと**でした。

そこで、“機能する水委員会”をつくるために、カウンターパートや外部団体と私の間に認識の違いがないことを確認しました。そのうえで、M 村担当の同僚に水委員会の必要性やその役割、維持管理の方法について理解してもらえるようにレクチャーをし、翌日の研修に臨みました。

その結果、翌日の住民集会では、同僚から住民へ水委員会を中心とした井戸維持管理の必要性を伝えることができ、水委員会メンバーの選出が無事終了しました。

今回は予想外のできごとでしたが、**新たな井戸**ができた＝“ゼロ”から**水委員会をつくる**ことができる**チャンス**となりました。水のアクセスに不便を感じていたからこそ、今後住民にオーナーシップの意識が芽生えることを願っています。また、M村担当者が私を頼りにしてくれたことで、この1年間水の防衛隊として任地で活動してきたことが少しずつ認めてもらえるようになったのかなと思えました。それにしても、途上国、いつ何が起こるかわかりませんね。

--- 市場で果物を買わなくなった3つの理由。 ---

1年経った今、私の買い物の仕方にも変化が。週に2回の市場で果物をほぼ買わなくなりました。というのも、**直接、農家さんから果物を買えるようになった**からです。友人と一緒に人里少し離れた山の斜面まで農家さんを訪ねたのがきっかけでした。任地の住民が集住するエリア周辺では、果物を育てている場所はあまり見当たりません。しかし、山の斜面には宝の山が。パイナップルやマンゴー、アボカド、パッションフルーツ、ツリートマトなどが育てられています。



📷：ビタミンが豊富なツリートマト。中には真っ赤な果汁がたっぷり！住民によれば、「女性にとっても良い」、「これを食べれば医者知らず」だそうです。

① 一緒に畑に行き、収穫できる。

市場で果物を買わなくなった理由の1つは、農家さんと畑に行き、自分で収穫できるから。花や実の生り方を知るのがなんともオモシロイのです。



📷：パッションフルーツの花。

② もぎたてを食べられる。

2つ目の理由は、果物狩り気分です。もぎたてが食べられるからです。特に鉋でカットしてくれる採りたてのパイナップルは絶品。おなかが痛くなる覚悟でかじったときの、あのジューシーな甘さ！大地の温かさをほのかに感じます。

③ かなり安い！

そして3つ目の理由は、値段が安いから。農家だと市場の2倍の量を購入できるのです。そもそも市場でモノを売るためには、毎月・毎年、場所の使用料を支払わなくてはならないのです。売り子さんのもうけを考えれば高くなる理由がわかります。



📷：エコバックいっぱいのツリートマト。

遠くても訪ねる価値のある場所。住民は直接農家さんから購入し、上手に買い物をしていたのですね。

来月もお楽しみに。
Murabehe~! またね!

